



「ひとり言」

2013. 01. 01 vol. 247

明けましておめでとうございます

本年も旧倍のご支援・ご鞭撻をお願いいたします。

さて、「新年」を表す季語の中に「初夢」がある。皆さんは、初夢を見られましたか？

私は最近でこそ夢を見ることは少ないが、小さい頃はよく見ていたような記憶がある。



人間、夢を持つと言うことは大切で、若かりし頃は「地球は自分を中心に回っている」というような思いも持っていた。

結婚した当時、女房にこのことを話したことがあるらしく、最近でもことあるごとに、「地球はあなたを中心に回っているでしょ？ 自己中に物事を考えられる人は羨ましい」と言われている。

先日の朝日新聞に、生涯に 5,000 曲の詩を書き、シングル売上げは 6,800 万枚強という歴代類を見ない作曲家だった故阿久悠さんは、「男は心に紙飛行機を。1 枚の紙と小さな窓があれば、どんな世界にでも飛んで行ける」と言われていたとの掲載があった。

男に限らず幾つになっても「夢」を持ち続けることは必要であろう。

でも私のように、この年になっても「自己中の夢」は、ちょっと問題があるかも？

先の選挙で、自民党が圧勝し政権が変りました。

みんなが楽しい夢を見ることが出来る世の中となることを期待しています。

清水和男



好評連載中！

「しみちゃんの不動産営業日誌」

http://blog.goo.ne.jp/macjuken_001/

「ひとり言」のバック No.

<http://www.fudousan-joho.co.jp/macj/>

「大鏡寺」門前のお言葉より

昨日を忘れ
今日を喜び
明日を
楽しみに

住まいのマック マック住研株式会社

〒565-0842 吹田市千里山東 2 丁目 26 番 25 号

TEL. 06 (6389) 5111

E-mail macjuken@proof.ocn.ne.jp



「ひとり言」

2013.02.01 vol.248

2月4日から始まる今年は、暦の上では「癸巳」。

順番を示す数詞(1・2・3…)の元となった「十干」と、時間の呼び名(子の刻・丑の刻…)の元となった「十二支」との組み合わせは六十通りあり、六十年で一回りすることから六十歳は生まれ変わる歳「還暦」と呼ばれることはご承知の通りです。

この六十年サイクルの三十年目にあたる今年は、どんな年になるのか？私なりに調べてみました。



「癸」は、「十干」の一番最後。

「十年一昔」という言葉があるように、今までの十年を冠の四方に刃の突き出た「癸」で、力を使ってでも終わらせてしまう。

次の新しい十年につなぐ、と読めるという。

「巳」は、象形文字の「包む」、つまり「胎児」を表す字が変形したものと考えられている。

「十二支」の六番目に位置し、五年間、樹木が芽を出し、花を咲かせ、六年目に実を生らし始める…新しい生命の誕生を予感させているようだ。

1893年の「癸巳」は、薩長の権力闘争が一段落し、日清戦争突入の前年。

1953年の「癸巳」は、戦後の廃墟から立ち直り、テレビ放映が始まった年。

今年、2013年の「癸巳」は、過去三十年の成長経済に別れを告げ、「生存」を目標に舵を切っていく年になりそうです。

「安心・安全の世」となることを期待しています。

清水和男



日捲りで見かけた言葉

言	聞	見
え	か	え
な	な	な
い	い	い
の	の	の
は	は	は
自	聞	見
信	く	な
が	気	い
な	が	い
い	や	い
か		の
ら		は
や		は

好評連載中！
「しみちゃんの不動産営業日誌」
http://blog.goo.ne.jp/macjuken_001/
「ひとり言」のバック No.
<http://www.fudousan-joho.co.jp/macj/>

住まいのマック マック住研株式会社
〒565-0842 吹田市千里山東2丁目26番25号
TEL. 06(6389)5111
E-mail macjuken@proof.ocn.ne.jp



「ひとり言」

2013.03.01 vol.249

「1月」は「行く」、「2月」は「逃げる」と言われるとおり、本当に日にちが経つのは早いですね。

今年も既に2ヵ月が過ぎてしまいました。

そして弥生^{やよい}3月。この弥生は「弥生(いやおい)」が変化したものらしい。

「弥(いや)」は、「いよいよ」や「ますます」の意味があり、「生(おい)」は、「生い茂る」と使われるように、草木が芽吹くことを意味すると言われている。

つまり「弥生」は、「草木がだんだん芽吹く月」ということです。

でもこの「3月」は、「去る」とも言われ、いろいろな別れがあると共に、やはり月日の経つのが早い月の一つに数えられている。

一日一日を無駄に過ごすことがないようにしなくては…



さて、2月は嬉しいことがありました。

私の写真作品が、河内長野市観光協会などが主催する「観光写真コンテスト」に入賞したのです。

このコンテストは、河内長野市や千早赤阪村・金剛などの奥河内で撮影した写真の応募作品から選ばれるもの。

写真コンテストで賞らしい賞をいただいたのは初めてだけに、とても喜んでます。

入賞作品の展示会はいろいろなところで行われるようですが、3/22(金)~28(木)は備後町の富士フィルムフォトサロンで開催されます。

お時間のある方は是非見てやってください。

その上でご批評をいただければ幸いです。

よろしく願いいたします。

清水和男



大鏡寺門前のお言葉より

みんな
違って
みんな
いい

好評連載中！

「しみちゃんの不動産営業日誌」

http://blog.goo.ne.jp/macjuken_001/

「ひとり言」のバックNo.

<http://www.fudousan-joho.co.jp/macj/>

住まいのマック マック住研株式会社

〒565-0842 吹田市千里山東2丁目26番25号

TEL. 06(6389)5111

E-mail macjuken@proof.ocn.ne.jp



「ひとり言」

2013. 04. 01 vol. 250

先月の「ひとり言」(Vol.249)の中で、大鏡寺門前のお言葉よりとしてご紹介をした「みんな違って みんないい」について、読者の方より「これは有名な「みすゞさん」の詩の一節だ」というご指摘をいただきました。

確かに何処かで聞いたことがある気はしてはいたのですが…「みすゞさん」とは？

調べてみると、「みすゞさん」とは、童謡詩人の「金子みすゞ」さんであることが分かり、早速出版されている本を取り寄せて読んでみた。



金子みすゞ(本名テル)さんは、1903(明治36)年4月11日、山口県大津郡仙崎村(現在の長門市仙崎)にて長女として生まれた。

3歳の時に父が亡くなり、翌年には弟が養子に買われてゆくというような境遇で育ったにもかかわらず、女学生時代の成績は常にトップクラスで、快活な性格はみんなの憧れであったという。

1923(大正12)年、雑誌に投稿した作品が西條八十さんの目に止まり称賛され、その後投稿した作品の殆どが雑誌に掲載されるようになり、ファンが広がっていったようです。

結婚、出産、離婚、そして1931(昭和6)年、26歳という短い生涯を終えましたが、誰にでも分かり、共鳴しやすく、生きていることの裏まで教えられる詩は、人々の心を動かし、没後八十数年を経た今も、ドンドンファンが増えていっているとのこと。

私も完全に虜になりました。

清水和男

私と小鳥と鈴と
 私が両手をひろげても、
 お空はちっとも飛べないが、
 飛べる小鳥は私のように、
 地面を速くは走れない。

私がからだをゆすっても、
 きれいな音は出ないけど、
 あの鳴る鈴は私のように、
 たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
 みんなちがって、みんないい。

好評連載中！

「しみちゃんの不動産営業日誌」

http://blog.goo.ne.jp/macjuken_001/

「ひとり言」のバックNo.

<http://www.fudousan-joho.co.jp/macj/>

住まいのマック マック住研株式会社

〒565-0842 吹田市千里山東2丁目26番25号

TEL. 06(6389)5111

E-mail macjuken@proof.ocn.ne.jp



「ひとり言」

2013. 05. 01 vol. 251

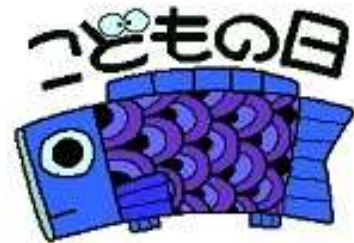
五月は「**皋月**」。

「皋月」は、早苗を植える時期の「早苗月(さなえづき)」を略したものらしいが、「皋」には「神に捧げる稲」という意味もあるようだ。

「新緑の候」・「若葉の候」・「風薫る」・・・この時期の手紙の冒頭に使われる言葉も実に心地良い。

千里山界隈では、新緑の若葉の中に「サツキ」や「ツツジ」「花水木」「藤」などが競い合うように咲いている。

また近くの箕面の山中などでは、「**余花**(周りが青葉の中に遅れて咲く桜)」という風情がある言葉が似合うところも。



さて、5月5日は「**五節句**」の一つである「端午の節句」。

江戸時代から、上巳は女の子の節句(3月3日)、端午は男の子の節句となったようだが、もとは上巳も端午も男女関係ない厄祓いと子供の成長を願う節句だったとのこと。

そして5月の第2日曜日は「**母の日**」。

トても季候の良いときに設定されている。

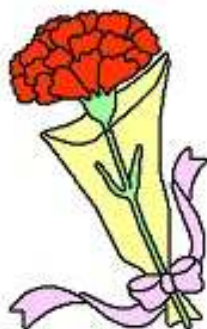
梅雨の最中の「父の日」とは大違い。(ヒガミかな?)

兎に角、一年で一番気持ちの良い季節。

アウトドアを楽しみましょう。

(PS.前号の文中で、金子みすゞさんの死去された年が間違っていました。正しくは、1930(昭和5)年です。訂正をさせていただきます。)

清水和男



深いお空で
この裏まちの
ぬかるみは、
ありました。

澄んだお空が
とおく、うつくしく、
ありました。

青いお空が
この裏まちの
ぬかるみに、
ありました。

ぬかるみ

金子みすゞ

好評連載中!

「しみちゃんの不動産営業日誌」

http://blog.goo.ne.jp/macjuken_001/

「ひとり言」のバックNo.

<http://www.fudousan-joho.co.jp/macj/>

住まいのマック マック住研株式会社

〒565-0842 吹田市千里山東2丁目26番25号

TEL. 06 (6389) 5111

E-mail macjuken@proof.ocn.ne.jp



「ひとり言」

2013.06.01 vol.252

やりましたね、三浦雄一郎さん。

80歳で世界最高峰エベレストの頂上に。

「諦めなければ夢が実現できる」との氏の言葉が胸に響きます。

「80歳がスタートだと思えば人生が面白くなるんじゃないか」と言うことは、私はマダマダ遅ってことですね。



さて、5月の中旬に60年に一度の「平成の大遷宮」を終えた出雲大社へ詣でてきました。

私が訪れたのは平日ではあったものの、奉祝行事が行われていて、多くの参拝客が…

ご承知の通り出雲大社は「縁結びの神様」として有名であり、勿論私もお賽銭を張り込んで…

えっ？今から何の縁結びを…って？

はい、「売主様と買主様との良いご縁を」と祈願をしました。

ところで前日は東郷湖畔の温泉旅館に宿泊したが、この東郷湖は地図上では東郷池となっているとのこと。

では池と湖の違いは何？大きさを区別されているのだろうか？調べてみると深さが関係しているようで、湖は深くて中央の深いところには植物がないもの。

沼は、湖より浅く、深いところにも植物が生えている。

池は、地面に出来た窪みに水が溜まったところで、湖沼より小さいものを言うらしい。

でもこの東郷池は1周が約12km。

私の感覚では、東郷池と言うより東郷湖という方が相応しく思いましたが、皆さんはどう思われますか？

清水和男



自分の心が
変らねば
人の心は
変らない
「大鏡寺」門前の
お言葉より

好評連載中！

「しみちゃんの不動産営業日誌」

http://blog.goo.ne.jp/macjuken_001/

「ひとり言」のバックNo.

<http://www.fudousan-joho.co.jp/macj/>

住まいのマック マック住研株式会社

〒565-0842 吹田市千里山東2丁目26番25号

TEL. 06(6389)5111

E-mail macjuken@proof.ocn.ne.jp



「ひとり言」

2013.07.01 vol.253

今年の流行語の一つに「遷宮」がある。

「遷宮」とは、本殿を新築移転したりする際や修理や新築の際に一時的に神体を移動する場合を指すようだ。

今年は、60年に一度の「平成の大遷宮」出雲大社と20年に一度の「式年遷宮」の伊勢神宮が重なる年だ。

私は、5月に、出雲大社、先日は伊勢神宮へお参りをしてきました。

伊勢神宮の遷宮は10月に行われるため、新しい本殿は屋根の一部しか見ることは出来なかったが、境内に入ると荘厳な気分させられるのは私だけではないでしょう。



さて、いまやお伊勢さん参りと切っても切れないのは「おかげ横丁」の散策である。

江戸から明治にかけての伊勢路の代表的な建築物が移築・再現されたこの横丁は、江戸時代に起った伊勢神宮への集団参詣である「お蔭参り」から命名されたようだが、20年前の式年遷宮の年に、お伊勢さんの「おかげ」という感謝の気持ちを持って開業されたとのこと。

私がお伊勢さん参りをしたのは平日の昼頃で、今にも雨が降り出しそうな天気であったにも関わらず、参拝の方がドンドンと。

そして、その殆どの人々が「おかげ横丁」へ流れて行く。

「おかげ横丁」は、文字通り「お伊勢さんのお蔭」と言うことを痛感した旅でした。

皆さんも、お伊勢さん参りの折に立ち寄られては如何でしょうか？

楽しい思い出の1ページに加えられると思います。

清水和男



「ほほえみ読本」
より
静観
ときに
休養
ときに

好評連載中！

「しみちゃんの不動産営業日誌」

http://blog.goo.ne.jp/macjuken_001/

「ひとり言」のバック No.

<http://www.fudousan-joho.co.jp/macj/>

住まいのマック マック住研株式会社

〒565-0842 吹田市千里山東2丁目26番25号

TEL. 06(6389)5111

E-mail macjuken@proof.ocn.ne.jp



「ひとり言」

2013.08.01 vol.254

暑中お見舞い申し上げます

酷暑の日が続いています。

皆様におかれましては、熱中症に十分注意をして、夏を乗り切ってください。

さて、一年で一番暑い日を表す言葉に「大暑」があり、これは二十四節気の第12番目で、例年7月23日頃だ。

この一番暑いとされる時期に大阪では天神祭が行われる。



京都の祇園祭、東京の神田祭と共に日本の三大祭りの一つに数えられている天神祭。

祭りに出かけて思うのは、暑い最中にもかかわらず、フッと爽やかさを感じることがあるということだ。

祇園祭の「コンコンチキチコンチキチ」という鉦や笛の祇園囃子のように、天神祭で良く聞こえてくるのが

「打～ちまひょ(打ちましょ) パンパン もひとつ(もうひとつ)せえ パンパン いおうて(祝うて)三度 パンパン」

という、大阪締めである。

もともと大阪商人が商取引の時に、「もうこのへんで手打ちまひょか」といって手を打ったのが始まりのようですが、天神祭では、船渡御で船と船がすれ違うときや宮入の時にも繰り返される。

この耳に優しい大阪締めが爽やかさを運んでくれているのではなかろうか。

我々の商売も、この「打～ちまひょ」が数多くできるよう頑張りたいものです。

清水和男



心頭
滅却すれば
火もまた
涼し
ことわざにより

好評連載中！

「しみちゃんの不動産営業日誌」

http://blog.goo.ne.jp/macjuken_001/

「ひとり言」のバックNo.

<http://www.fudousan-joho.co.jp/macj/>

住まいのマック マック住研株式会社

〒565-0842 吹田市千里山東2丁目26番25号

TEL. 06(6389)5111

E-mail macjuken@proof.ocn.ne.jp



「ひとり言」

2013. 09. 01 vol. 255

8月の大阪は、連日の猛暑で大変でしたが、皆様はお変わりございませんか？

その猛暑の中、高知の四万十市で国内の最高気温が記録された日、豊中市では39.9℃という報道が…

豊中市は当社がある吹田市の隣町。

なのに何度かの気温差がある。

豊中市の観測地点は何处？という話題になり、豊中市在住の何人かに確認をしたが誰も分からなかった。

ご存じの方は教えてください。



この夏、福知山の花火大会会場で悲惨な事故が起った。
露天商の方が自家発電機に燃料であるガソリンを注入しようとして、操作を誤ったのが原因らしい。

その後、各地の花火大会や祭りの会場では地元の消防職員が、注意書きのパンフレットを手渡ししながら指導している情景がTV画面から流れていた。

注意を促された露天商曰く「ガソリンの入った容器は日陰に置き、ガス抜きをしてから注入するのは当然のことだ」と。

つまり、当然のことを怠ったばかりにこの事故が起ってしまった。

そこには日々行っていることへの惰性があったのか？

これは何もこの露天商だけのことではない。

我々の仕事でも、惰性でチェックが漏れたり、手抜きしていることがあるのではなかろうか？

再考させられる出来事でした。

清水和男



おめでとうございます

イチロー選手日米通算
四千本安打の会見より

四千のヒットを
打つには
八千回以上は
悔しい思いを
してきている
それと常に
向き合ってきた
ことの事実はある
これは誇れることだ

好評連載中！
「しみちゃんの不動産営業日誌」
http://blog.goo.ne.jp/macjuken_001/
「ひとり言」のバックNo.
<http://www.fudousan-joho.co.jp/macj/>

住まいのマック マック住研株式会社

〒565-0842 吹田市千里山東2丁目26番25号
TEL. 06(6389)5111
E-mail macjuken@proof.ocn.ne.jp



「ひとり言」

2013. 10. 01 vol. 256

久しぶりに関西に大きな爪痕を残した台風 18 号。皆様に被害はありませんでしたか？

台風が過ぎて初めての連休に、被害が大きかった地域には各地からのボランティアの人々が後片付けのお手伝いに参加されたとか。

私は仕事のためお手伝いには行けませんが、参加された方々には本当に頭が下がります。

ありがとうございました。



さて、2020 年東京五輪開催が決まりました。

そのプレゼンテーションで話題になったのが「おもてなし」と言う言葉です。

英語やフランス語など、他国の言葉では翻訳しきれないという日本特有の民族文化を象徴するこの言葉。

「おもてがない」なら「裏ばかり」なんて冗談ではなく、「もてなし」の丁寧語で、「表も裏もない心」でお客様をお迎えすることのようです。

肝に銘じなければ…

処で、9月22日に放映されたTVドラマ「半沢直樹」最終回は、ビデオリサーチの調査によると平均視聴率が平成の民放ドラマで最高を記録したという。

「やられたら、やり返す。倍返しだ！」という言葉と「おもてなし」。更には、東進ハイスクール林修氏の「いつやるの？今でしょ！」。

他人ことながら、今年の流行語大賞選びは大変だ。

清水和男



「ほほえみ読本」より

忙しいときに
イライラするときに
くやしいときに
不安なときに
私はそっと
私に尋ねる
あなたはいま
ほほえんで
いますか？
と

好評連載中！

「しみちゃんの不動産営業日誌」

http://blog.goo.ne.jp/macjuken_001/

「ひとり言」のバック No.

<http://www.fudousan-joho.co.jp/macj/>

住まいのマック マック住研株式会社

〒565-0842 吹田市千里山東2丁目26番25号

TEL. 06(6389)5111

E-mail macjuken@proof.ocn.ne.jp



「ひとり言」

2013.11.01 vol.257

「二百十日」や「二百二十日」という言葉をご存じて
しょうか？

立春から数えて210日目(二百十日)が9月1日。220日目
が9月10日(二百二十日)で、稲を始めとして色々な作物の収穫
間近なこの時期に台風が来てダメになるとのことで、江戸時代頃
から厄日としてこの呼び名が付いたようだ。

我々世代の人間には馴染みの深いこの言葉も、近年、日本に
近づく台風がこの時期よりずれているためか死語となりつつある。

これも**地球温暖化の影響**の一つなのだろうか。



さて、臭い話して恐縮ですが、「うんこ」と「うんち」は違うとい
うことを先日のTV番組で聞いた。

この番組での女医さんによると、「うんこ」は硬く、「うんち」は
柔らかいものと言うのだという。

「本当だろうか？」と思い調べてみた。

すると、「これは同じ」という意見や「うんち」は赤ちゃん言葉で
ある」と言う記述が…

しかし、さらに調べてみると世界医学協会は次のように定義し
ていることが分かった。

「草食獣の排泄物が「うんこ」で、肉食獣の排泄物が「うんち」だ
と。

とすると、人間の排泄物は？どちらでもよい話してはあるが、
毎日の排泄物を見ることで、**身体の異常を早く知ることができる**
とも言われている。

臭いけど、覗いて見るのも必要かな。

清水和男



「ほほえみ読本」より

川は流れて	頭は冴えて	目は澄んで	心は燃えて
いなくてはならぬ	いなくてはならぬ	いなくてはならぬ	いなくてはならぬ

好評連載中！

「しみちゃんの不動産営業日誌」

http://blog.goo.ne.jp/macjuken_001/

「ひとり言」のバックNo.

<http://www.fudousan-joho.co.jp/macj/>

住まいのマック マック住研株式会社

〒565-0842 吹田市千里山東2丁目26番25号

TEL. 06(6389)5111

E-mail macjuken@proof.ocn.ne.jp



「ひとり言」

2013. 12. 01 vol. 258

今年も残すところ 1 カ月足らずとなりました。
この 12 月は、「師走(しはす)」ともいわれる。

「師走」の語源を調べてみると

- 仕事が終わる・・・仕極(しはつ)
- 為すことが終わる・・・為果つ月(しはつつき)
- 年が終わる・・・としはつるつき
- 日時が終わる・・・しはつる月
- 季節(四季)が終わる・・・四極月(しはつづき)

等いろいろあるようだが、ハッキリした語源は分からないと。

しかし私的には、坊さん(師)が正月前に祖先の霊を弔うお経をあげるために檀家を走り回る、というのが一番ピッタリしているように思うのですが・・・いかがでしょうか？



さて今年もいろいろなことがありました。
私ごとでは、写真で幾つかの賞をいただいたこと。

年始めに、河内長野市観光写真コンクールで銀賞、9月に中之島公会堂で行われた某写真コンテストで優秀賞、10月の豊中市美術展に入賞・・・

特に、河内長野市観光協会のホームページでは観光写真コンクールのサイトに作品が紹介されると共にカバーにも使っていただき、トテモ喜んでいる。

気分良く年が越せそうです。
来年もよろしくお願い申し上げます。

清水和男



良いお年を
お迎えください

終わり
良ければ
すべて
良し

好評連載中！

「しみちゃんの不動産営業日誌」

http://blog.goo.ne.jp/macjuken_001/

「ひとり言」のバック No.

<http://www.fudousan-joho.co.jp/macj/>

住まいのマック マック住研株式会社

〒565-0842 吹田市千里山東2丁目26番25号

TEL. 06 (6389) 5111

E-mail macjuken@proof.ocn.ne.jp